

梅若会定式能

翁

弓矢立合

山崎 正道
梅若長左衛門
会田 昇

三番叟
千歳
面箱 飯田 豪
野村太一郎
山崎 友正



能

船弁慶

重キ前後之替
早装束

山中 遼晶
山中つきの



二〇一九年一月五日(土)
午後一時開演(正午開場)

梅若能楽学院会館

自由席 七、〇〇〇円

出演者一同

休息十五分予定

後見
松山隆之
小田切康陽

龜井 広忠
 田邊 恭資
 大倉源次郎
 古賀 裕己

杉
信太朗

鍋八撥

野村
万作

中村 修一
石田 幸雄
笛杉 信太朗

猥 東 仕舞

北	松山
ク	隆之
セ	
々	川口
	晃平

山崎友正
梅若紀彰
地謡

《休憩十分予定》

能
船
弁

山中つきの

重キ前後之替
早装束

殿田 謙吉
則久 英志
梅村 昌功
間野村 萬齋

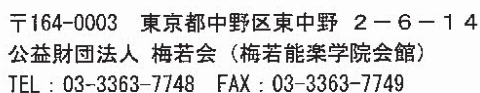
大倉慶乃助
曾和 正博

大川 典良
藤田 貴寛

後見
小田切康陽
角当行雄

地謡
鷹尾 雄紀
山中 景晶
小田 切亮磨
内藤 幸雄

川山角井
口崎当上
晃正直燎
平道隆治



『翁』くおきなく構成等は全く他の能一般とは違つて天下泰平国土安穩を祈禱する一種の祭典であり、遠く原始申樂から伝わる舞台の浄めである。当日幕内に設けられた祭壇の神酒をいただき、面箱持（狂言方）を先立ててシテ、千歳、三番叟、囃子方、地謡方、狂言後見の順に登場する。シテは正面先で恭しく敬礼し、地謡座前に着座する。地謡方は囃子方の背後に居並ぶ。笛が吹出し、小鼓三丁の連調の手を聞いてシテは謡い出す。千歳の舞の後、シテは神樂を舞う。済んで再び礼をして退場し、三番叟の舞となる。

1. 自由席 7,000 円 指定席 8,000 円 学生席 3,000 円
2. 賛助会員券 (定式能) および自由席をお持ちの方は 1,000 円プラスで正面のご希望のお席を確保いたします。
公演 1 週間前までにお電話にてご予約下さい。
準賛助会員券 (梅流会) をお持ちの方は 1,000 円プラスで自由席にてご観能可能です。
3. チケットはお電話、またはファクスにて郵便番号、ご住所、お名前、ご連絡先電話番号、ご希望席種をお書きの上
お申し込み下さい。TEL 03-3363-7748 FAX 03-3363-7749)
なお梅若会ブログにても受け付けております。
(パソコン: <http://umewakanoh.exblog.jp/> 携帯: <http://mblog.excite.co.jp/user/umewakanoh/>)
詳しくはお電話にてお問い合わせ頂くか梅若会ブログをご覧ください。
4. 都合により出演者、曲目に変更がある場合がございます。
*ロビーにて軽食、コーヒー、ケーキ等の販売がございます。皆様ご利用下さい。

Kansai Cultural Affairs
Committee of Japan
助成：文化庁文化芸術振興費補助
（舞台芸術創造活動活性化事業）
独立行政法人日本芸術文化振興



助成：文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会